

令和4年度 卒業式 式辞

冬の寒さも和らぎ始め、暖かな春の訪れを感じる今日の佳き日、令和4年度卒業証書授与式を挙行いたしましたところ、PTAの役員の皆様をはじめ、多数の保護者の皆様のご列席を賜り、誠にありがとうございます。高いところからではございますが、厚くお礼申し上げます。

ただ今、卒業証書を授与いたしました345名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

3年前、皆さんの高校生活は、オンライン授業で始まりでしたね。

本校では、皆さんが登校できない状況においても、できる限り教育活動をとめないようにするため、府立高校の先陣を切って、4月当初よりオンライン授業を実施しました。

とはいえ、憧れの高校生活の幕開けにもかかわらず、自宅学習となり、皆さんにとって、ご家族にとって、とても不安な日々だったと思います。

「早く登校したい」「クラスみんなで授業を受けたい」、「友達を作って交流したい」、「クラブ活動をしたい」、など、新たな高校生活に思いをはせながらも、分散登校を経て、2カ月後の6月中旬に、やっと、入学式となり、その後も、昼休み時間の黙食、部活動の制限、文化祭、体育祭の規模縮小や延期、修学旅行の延期・行先変更等々、さまざまなことを受け入れざるを得ない状況となりました。

でも、皆さんは、学年の先生方、保護者の皆様の支援や見守りを受けながら、その状況を理解しようと努め、工夫しながら、着実に勉強や部活、学校行事に打ち込み、進路実現に向けて、常に前向きにチャレンジし続けてきました。その中で、感性や感受性を磨き、レジリエンスを高め、「強靱な知性・みずみずしい感性・品格ある人間性」を身に付けていきました。

受験が迫ってくる年度末、ややもすると欠席が増えたりする時期ですが、75期生の皆さんは、最後の最後まで、先生方の指導を信じて、授業に、講習会に真摯に向き合い、熱心に取組んでくれました。

また、共通テストを数日後に控えたホームルームにおいて、「大感謝祭」と銘打って、校内大清掃を行い、高津高校への感謝の気持ちを表してくれました。皆さん、本当にありがとうございます。

学校に登校できることが「当たり前」ではないことを経験した皆さんは、高津高校生活をとてとても大切にしてくれたと思います。

さて、皆さんは、進路実現に向けて、「自由と創造」「日新日進」を胸に刻み、いよいよ高津高校から旅立ちます。

これからの人生において、正解がない課題や理不尽と思えることに直面することがあると思います。そのときどうするのか。時代のせい、世の中のせい等、責任をどこかに求めても事態は変わりません。

私は皆さんに、課題に向き合い、どうすれば解決できるのかを自ら考え、課題解決に向けて行動する人になってほしいと願っています。

様々な価値観、異なる文化や慣習など、多様性が高まる中、解決策を探すことは容易ではありません。

しかし、正解はなくても、その時点での最適値は必ず存在します。
多様性を理解し、自らの頭で考え、未来を切り拓いていく、真のリーダーになってください。

同窓会の総会である卒業生の方が「高津は卒業してから高津生としての生活が始まる」とおっしゃっていました。

皆さんは、本校の校風・校是「自由と創造」「日新日進」とは何かとの問いに、どのように答えますか。その哲学的な問いの答えをこれからの人生の中で探究してください。

これを私から皆さんへの最後の宿題、「高津 LCIV」の課題とします。

今、皆さんが手にした卒業証書は、皆さん一人ひとりの努力によって得られたことはもちろんですが、その陰には、深い愛情を持って見守って下さったご家族、先生方、友人、同窓会、そして、本校創立以来ご支援をいただいている多くの人たちの励ましや支えがありました。このこともしっかりと胸に刻み、感謝の気持ちをいつまでも忘れないでください。

最後になりましたが、75期生の保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

入学式をはじめ、1・2年次の学校行事において、お子さまの晴れ姿を見ていただく機会を作ることができず、申し訳ございませんでした。

本日、高校生活最後の場面で、立派に成長されたお子さまの姿を見ていただくことができたことを本当に良かったと思っています。

保護者の皆様には、この3年間、本校教育活動へご理解、ご協力を賜りましたことに、教職員を代表して、深く感謝申し上げます。ありがとうございます。

それでは、「明日の理想の達成に向け、信ずる道を進みゆく」卒業生の皆さん、皆さんの前途を祝し、今後の限りないご活躍とご発展を心から祈念して、式辞といたします。

令和五年三月一日

大阪府立高津高等学校長 立川 猛士